

平成23年度 日建連 快適職場表彰 募集要項

1. 目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 本制度は、「建設技能者の人材確保・育成に関する提言」に基づき実施するものである。 ● 具体的には、優れた快適職場施設を表彰することにより、日建連会員の作業所に相応しい快適職場施設の高度化に寄与することを目的とする。
2. 募集期間	平成 23 年 12 月 22 日(木)必着
3. 選考の対象	<p>平成 22 年 11 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日迄の間に設置された快適施設または同期間の実施された快適施策であること</p> <p>※上記を満たしていれば、竣工済みの作業所でも選考対象とする。</p>
4. 募集の手続き	<p>(1) 応募の申込みは、原則として会員企業の「労働環境」担当窓口が行う。</p> <p>(2) 提出する書類</p> <p>イ. 応募用紙</p> <p>ロ. 写真 3 枚以内</p> <p>(3) 日本建設業連合会(以下「日建連」)は(2)の資料作成に要した費用は負担しない。なお提出資料については返却しない。また(2)以外に選考に必要な事項につき追加で説明や資料を求めることがある。</p>
5. 選考の方法及び決定	選考は、日建連内に設置する「快適職場表彰選考委員会」が6. 選考基準に基づき選定し労働委員長が決定する。
6. 選考基準	<p>以下に照らして総合的に判断する</p> <p>(1) 現在働いている建設技能者にとってはもとより、将来建設業界を目指す若者にとっても魅力ある職場環境作りに寄与する施設であること。</p> <p>(2) 創意工夫に富んだ特長的な職場環境作りを実践していること。</p> <p>(3) 厳しい施工環境を克服する対策を講じていること。</p>
7. 表彰等	<p>(1) 優良な快適職場施設・施策を表彰する。選考委員会の判断により部門別に賞を設ける場合がある。</p> <p>(2) 表彰の決定は、応募企業の代表者あてに通知するとともに、新聞等に公表する。</p> <p>(3) 受賞者に対しては、表彰状、並びに「受賞記念プレート」を贈呈する。</p> <p>(4) 発表は平成 24 年 2 月に行う。</p>
8. 受賞内容の紹介	<p>(1) 日建連は、受賞内容を会員企業へ紹介する。</p> <p>(2) 受賞者は、日建連が受賞した施設内容の資料、写真等を会員企業や新聞等メディアに提供する場合は、無償で使用することを認めるものとする。</p>

9. 提出先	社団法人 日本建設業連合会 事務局「快適職場表彰」係あて 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館内 電話 03-3553-0703 FAX 03-3552-2360
10. 選考委員	蟹澤宏剛(芝浦工業大学工学部教授)選考委員長、ほか外部有識者等で構成

(参考) 第1回快適職場表彰の最優秀賞および優秀賞

	受賞者	評価ポイント
最優秀賞	矢切函渠その7工事作業所 (株大林組)	作業所内で野菜を自家栽培し、採れた野菜を使って熱中症予防の塩分補給に利用するとともに、作業所長が調理し技能者と共に味わうことで心のゆとり創出を図った。また元請社員と建設技能者のコミュニケーション醸成にも役立った。技能者の心のゆとりに着目した点と、前向きなアイデアを高く評価した。
優秀賞	国庫補助事業 8・6・36 白石駅前広場連絡歩道(自由通路)新築工事作業所 (岩田地崎建設株)	男女完全分離のユニットハウス型トイレ(暖房付き)を設置。限られたスペースと予算の中でも、女性と高齢者に配慮した取り組みを評価した。
優秀賞	(仮称)大成ビル新築作業所 (大成建設株)	熱中症対策として塩分補給に夏野菜を提供。また全作業員を対象とした保健士による健康相談会を実施。建設技能者の健康に対する配慮と思いやりを評価した。
優秀賞	熊本駅前東 A 地区市街地第二種市街地再開発事業施設建築物建設工事作業所 (戸田建設株)	仮囲いへ太陽光パネルを設置し、場内仮設電源へ利用。工事従事者の環境意識の向上はもとより、積極的に近隣へアピールすることによる建設業のイメージアップへの貢献を評価した。

他に 11 の作業所が特別賞を受賞しました

■最優秀賞の紹介 ～(株)大林組 矢切函渠その7工事作業所～

- 作業所内で野菜を自家栽培し、採れた野菜を使って熱中症予防の塩分補給に利用するとともに、作業所長が調理し技能者と共に味わうことで心のゆとりを創出
- また元請社員と建設技能者のコミュニケーション醸成にも活用。技能者の心のゆとりに着目した点と、前向きなアイデアが高く評価されました



空きスペースを利用し
夏野菜を栽培



所長お手製の
シチューを味わう